

漁海況情報

平成20年7月16日 第11号(通巻370号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎2861 3

TEL: 0837-26-0711 FAX: 0837-26-1042 Mail: a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【平成20年度第2回日本海海況予報(7~9月)】

(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所が7月4日に発表した第2回日本海海況予報から、山口県に関する部分を抜粋してお知らせします。

2008年7月~9月の見通し

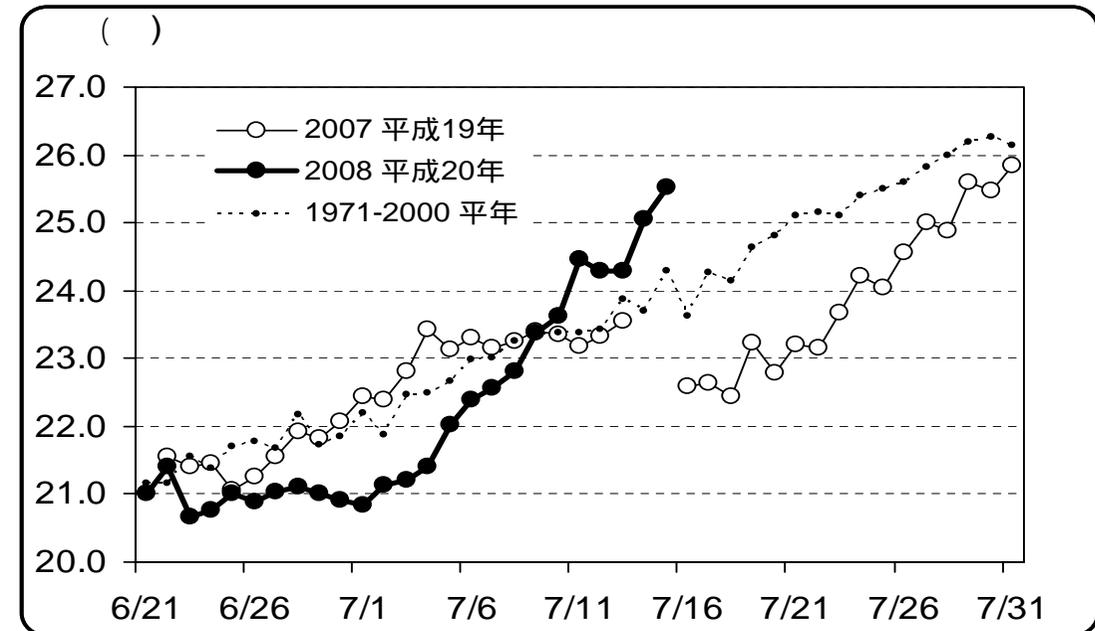
- 1 対馬暖流域の表面水温は「平年並み」で経過する。
- 2 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部では「平年並み」で経過する。
- 3 島根沖の冷水の張り出しは、「平年並み」であろう。

* 平年並み・・・約2年に1度の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温

【萩 - 見島フェリー観測の表面水温】

萩 - 見島フェリーの観測による萩沖の表面水温は、6月後半から前年・平年を下回っていましたが、7月6日の梅雨明け後、好天の影響により次第に上昇し、7月10日以降は平年・前年を上回って推移しています。7月15日の表面水温は25.51℃で、平年に比べ

1.23℃高めです。



萩NNW15マイル沖表面水温の推移(6月21日以降)

【見島地先~大津長門地区の水温・魚群情報】

漁業調査船「第2くろしお」による、7月10日の水温・魚群調査結果をお知らせします。

調査海域図は次のページに載せています。

表 各観測点の水深別水温 (°C)

測点番号				
深度・時刻	10:50	11:45	12:13	13:14
0m	23.6	23.8	24.2	24.5
20m	21.2	21.4	21.3	21.8
40m	20.5	20.5	20.4	20.7
60m	19.7	20.0	20.0	20.0
80m	18.5		19.0	19.5
海底	17.0	19.5	18.2	19.4
水深	92m	75m	94m	85m

魚群反応があった海域 . . . いずれも位置は世界測地系です

a 海域 (川尻沖マウンド魚礁) 反応：ふつう

日時 7月10日 12時13分

緯度 34°35.23'N 経度 131°00.91'E

水深：94m 反応水深：70m～海底付近

※釣獲調査の結果、マアジ (FL25～30 cm : 5尾) が確認されました。

b 海域 (オーシャンクロス No3) 反応：ふつう

日時 7月10日 13時14分

緯度 34°29.68'N 経度 131°05.79'E

水深：85m 反応水深：55m～75m と魚礁付近

c 海域 (海域図参照) 反応：ふつう～濃い

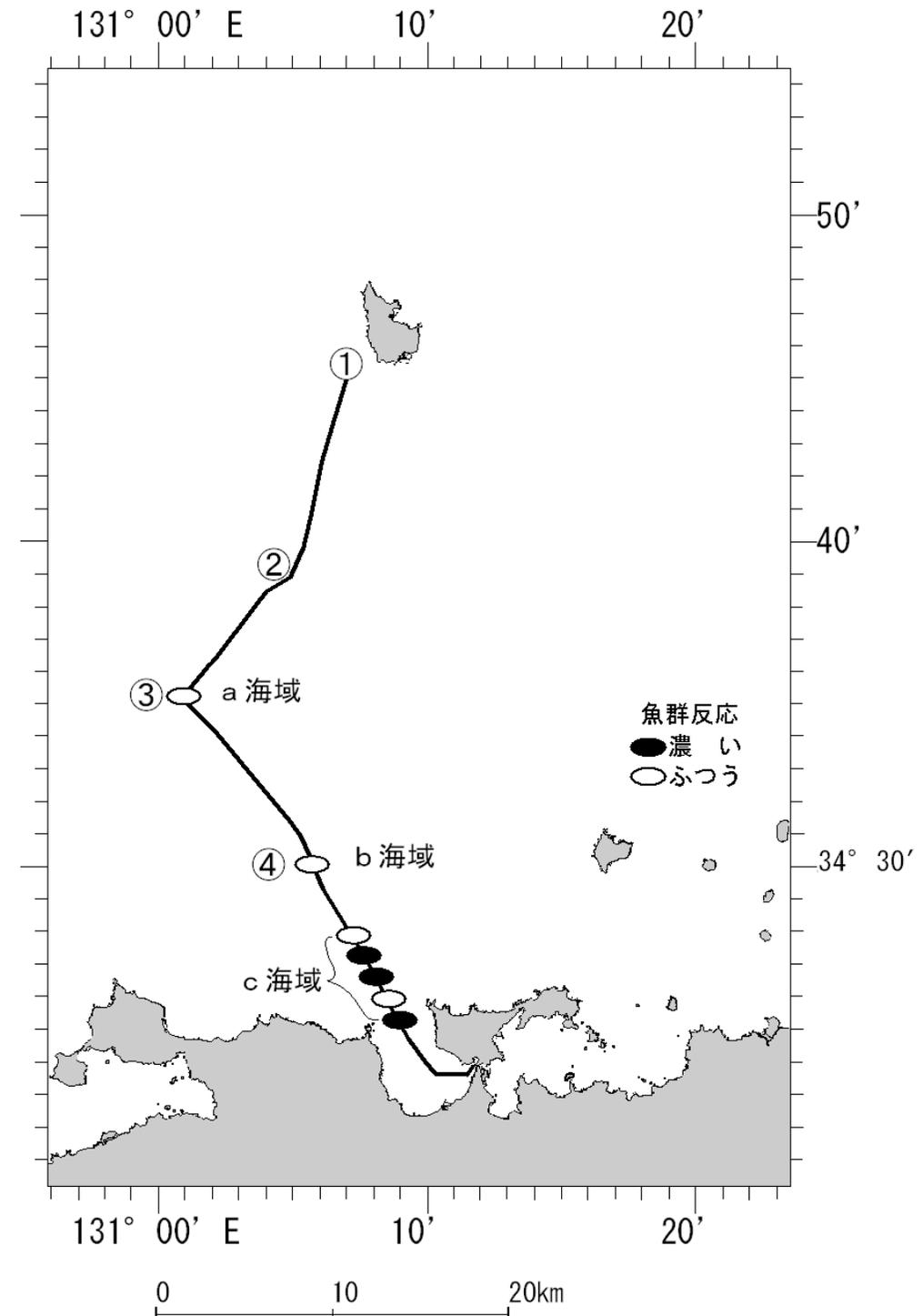
日時 7月10日 13時48～58分

緯度 34°27.47'N 経度 131°07.58'E から

緯度 34°25.43'N 経度 131°08.86'E にかけて

水深：65～42m

調査海域図



【魚礁調査情報（見島周辺）】

7月9・10日、調査船第2くろしおで見島地先の間伐材試験礁と高層魚礁（高さ30m、H14年設置）の効果調査を実施しました（図1）。

水中テレビロボット（ROV）を使った観察では、前回の3月調査時と同様にイサキ（30cm前後）、マアジ（30cm前後）メダイ（通称ダルマ60cm前後）が数多く蜻集していたほか、イシダイ、ウマヅラハギがまとまって確認されました（図2・3）。

釣獲試験（一本釣り）では、マアジ（30～40cm：20尾）のほか、イサキ（26～38cm：4尾）、アオハタ（通称キヨセ：48cm：1尾）、クロソイ（30cm：1尾）、カサゴ（18cm：1尾）、ウルメイワシ（20cm：3尾）、ネンブツダイ（9～10cm：2尾）が漁獲されました。

タンポ流し試験操業（延べ10鉢：底層～中層仕掛け：AM3：30～6：30）では、日の出の時刻頃までに集中してメダイ（55～65cm：4尾）とクロソイ（45cm：1尾）が漁獲されました。



図1 今回の調査場所

【魚礁位置】 日本測地系で表示しています。

①間伐材試験礁（間伐材付き3基、間伐材なし3基、計6基）

- 34°45.048'N、131°07.159'E（間伐材付き）
- 34°45.027'N、131°07.133'E（間伐材付き）
- 34°45.027'N、131°07.185'E（間伐材付き）
- 34°45.051'N、131°07.483'E（間伐材なし）
- 34°45.029'N、131°07.457'E（間伐材なし）
- 34°45.030'N、131°07.510'E（間伐材なし）

②事業礁 (山口北地区漁場整備事業 : 12 基のうち最も高い 30m 魚礁 3 基の位置です。周辺に 21m の魚礁があります。)

- 34°44.801'N、131°06.676'E
- 34°44.801'N、131°06.937'E
- 34°44.582'N、131°06.676'E

③H14 設置 UT304 (今回観察した魚礁 ; 高さ 30m)

- 34°45.192'N、131°06.853'E



図2 間伐材付鋼製魚礁とメダイ (ダルマ)



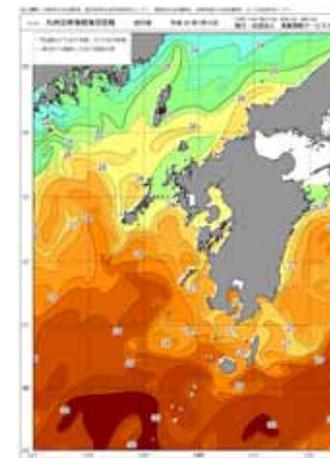
図3 UT304 (H14 設置) に大量に蛸集するイサキ

【携帯電話での表面水温分布図(海況日報)の情報サービス】

漁業情報サービスセンターの協力により、携帯電話で土日を除く毎日、九州・山陰の水温情報が確認できるようになりました。アドレスは次のとおりです。どうぞご利用ください。

<http://www.jafic.or.jp/keidai/index.html>

携帯電話では左のような水温分布図を確認できます。



【通沖の水温情報サービス】



平成 18 年から通定置漁業組合の協力により水温観測ブイを設置して、水深 1m,10m,20m,30m の計 4 層の水温観測を実施しています。10 分おきに自動で観測を行っており、ブイには通信装置を取り付けているので、携帯電話のメール機能を利用して、水温情報を確認することができます。

水温観測ブイは毎正時(0,1,2,3・・・時)にメールが来ていないかを確認するので、皆さんからメールが来ていた時には、

現在の水温情報をメールで返信します。例えば、午前 9 時 30 分にメールを送信した場合は、午前 10 時過ぎに観測ブイから水温情報のメールが返信されます。電波状況によっては、配信が遅れることもあるのでご了承ください。

【水温情報を得るためのメールの送信方法】

- 1 新規メールを立ち上げて、次のアドレスを入力する。
aem0076a@mopera.ne.jp
- 2 件名(subject)に、パスワードである [yamaguchi](#) と入力する。
- 3 本文は 空のままにする。
- 4 メールを送信する。